

身につけておきたい知識とマナー

「セキュリティ教本」

ブラウザのセキュリティ設定

インターネットを閲覧するときに使用するブラウザには、各種セキュリティが設定できます。初期設定のままでも通常の利用には問題はありませんが、ウイルスの中にはブラウザのセキュリティレベルを勝手に低く設定し、別のウイルスに感染しやすくするものがあります。定期的にセキュリティ設定を見直しましょう。

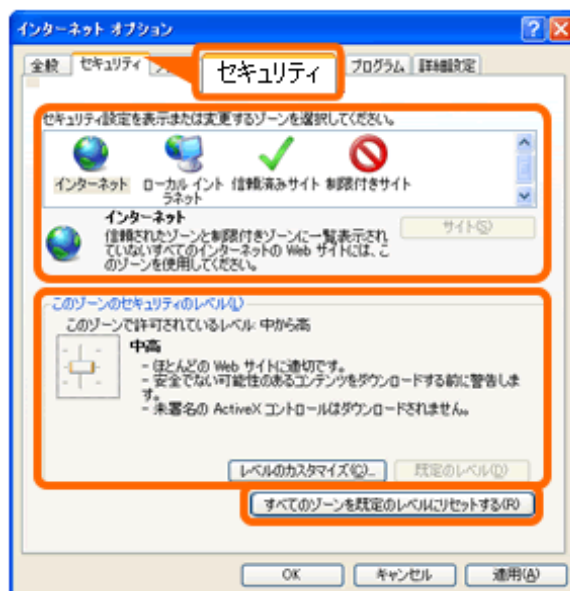
※Internet Explorer 7とFirefox 3を例として手順を紹介します。

Internet Explorerのセキュリティ設定

■ 操作手順



1 [ツール] → [インターネット オプション] の [セキュリティ] タブで設定できます。



2 [インターネット] [ローカルイントラネット] [信頼済みサイト] [制限付きサイト] ごとにセキュリティレベルが設定できます。規定のレベルでは、順に、中高、中低、中、高となっています。[すべてのゾーンを規定のレベルにリセットする] をクリックすると、規定のレベルになります。

▼次ページへ続く

- 3 [適用] → [OK] をクリックし、[インターネット オプション] ダイアログボックスを開じます。

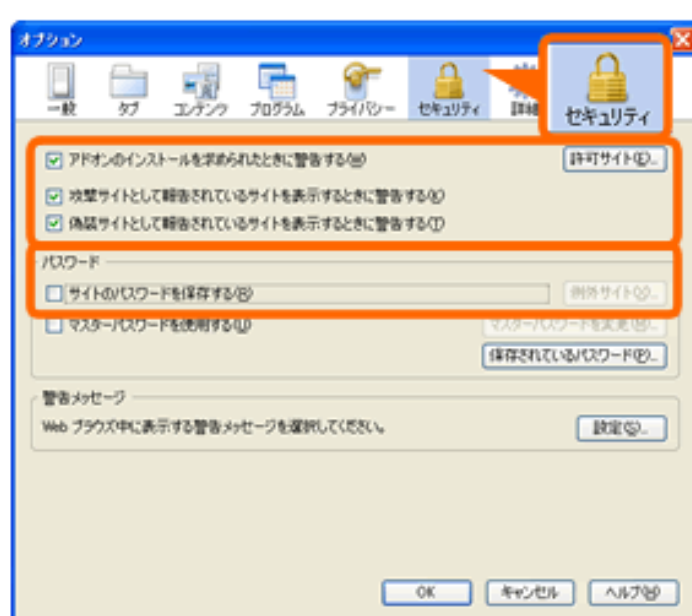
すべて「高」で設定しておくことで安全度が高くなりますが、Web閲覧に支障が出ることもあります。[インターネット] は「高」にしておき、いつも使用するWebサイトを[信頼済みサイト] に登録しておくのもよいでしょう。安全のためには、規定のレベルより下げないようにしましょう。

Firefoxのセキュリティ設定

■ 操作手順



- 1 [ツール] → [オプション] の [セキュリティ] タブで設定できます。



- 2 [アドオンのインストールを求められたときに警告する] [攻撃サイトとして報告されているサイトを表示するときに警告する] [偽装サイトとして報告されているサイトを表示するときに警告する] にはチェックを入れておくことをおすすめします。[サイトのパスワードを保存する] のチェックは外しておくことをおすすめします。

- 3 [OK] をクリックし、[オプション] ダイアログボックスを開じます。